

## まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

## ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

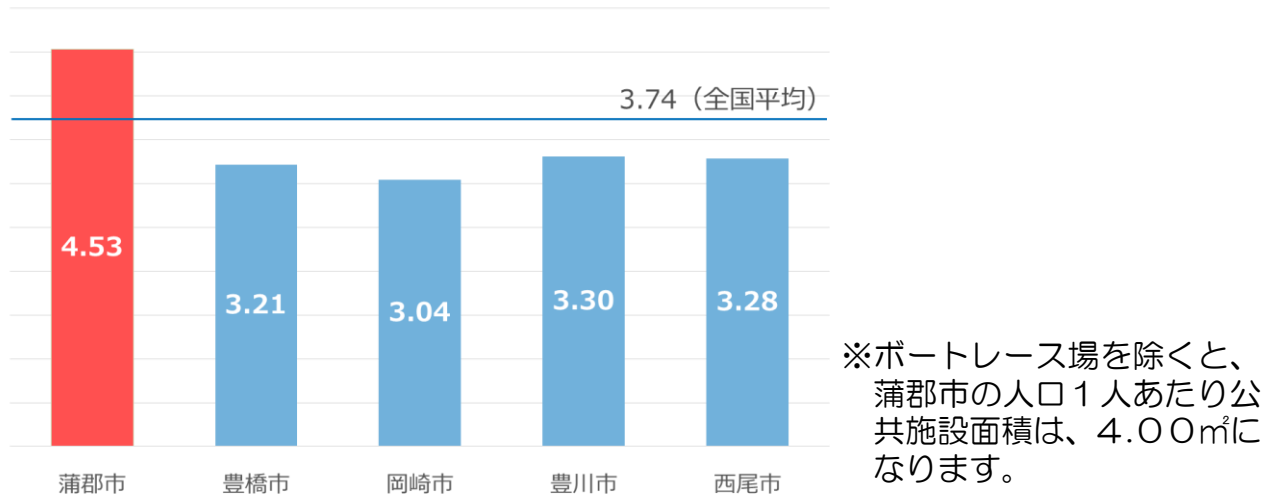
## 蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を反映させた塩津地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

## 〈 参 考 〉

人口1人あたり公共施設面積（㎡） （前回資料より抜粋）



### 【周辺自治体の取り組み】

施設の老朽化対策や適正配置に向けた取り組みは近隣他市でも行われています。

自治体名	取り組み
豊橋市	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価を435施設を対象に実施し、「継続グループ」、「再調整グループ」、「廃止グループ」に分類、「廃止グループ」に分類された24施設について、平成25年9月に公共施設廃止計画を策定し、廃止を実行。</li> <li>平成29年3月には公共施設等総合管理方針を策定し、①有給空間等の有効活用、②施設の長寿命化、③施設の複合化・集約化を通じて保有量の最適化を実現することを明記。</li> </ul>
岡崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年3月に策定された公共施設等総合管理計画により、施設類型別に削減目標を定める（例：コミュニティ施設は延べ床面積15%減）とともに、施設整備は、その目標内に収まるよう複合化などを通じて実施する原則を記載。</li> </ul>
豊川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年6月に公共施設適正配置計画を策定し、今後50年間の一般施設の年平均トータルコストの削減目標を43%、市の保有面積の削減目標を50年間で30%と設定。</li> <li>計画にはリーディング事業として、庁舎・支所の再編、コミュニティ施設の集約化、学校の統廃合や他機能との複合化を位置づけている。</li> </ul>
西尾市	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014年から2018年を計画期間とする公共施設再配置実施計画2014⇒2018を策定。</li> <li>30年間のLCC（ライフサイクルコスト）削減効果目標を731億円、保有面積の削減目標を16%に設定。</li> <li>計画には施設の多目的化を通じた再編などをはじめとする8つの具体事業の実現・実施を明記。</li> <li>計画策定にあたっては有識者を座長とする市民参加型のワークショップを実施。</li> </ul>